

「毎日の積み重ね」

校長 高田 晶子

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃となりました。

1学期のまとめの時期を迎えましたが、生徒たちの毎日の積み重ねによる成長した姿に、元気をもらっています。

学校総合体育大会も各会場無観客の中、一生懸命プレーに打ち込んでいる報告を顧問の先生方から聞き、ほっとしています。県・関東大会に進む皆さん。そしてコンクールを控えている吹奏楽部の皆さんも頑張ってください。



さて、先日、東京五輪マラソン代表に内定している大迫傑（おおさこすぐる）選手の番組を見ました。そこでは、「毎日の積み重ね」という話をしていました。オリンピック出場という、一つの目標に向け、毎日トレーニングをシンプルに行っていく。そういう、「毎日の積み重ね」が大事であるという内容でした。以前は夢と思っていたオリンピック出場が今では目標となり、出場の権利をつかむまでになった。それには、ただひたすら「毎日の積み重ね」に努めてきた、というところに本当の強さを感じました。

これは、私たちが毎日の生活で、繰り返し積み重ねていることでもあると思います。その「毎日の積み重ね」があつてこそ、生活を楽しく充実したものにしていくのでしょう。元郷中学校の「アイデア募集第2弾」では、「毎日の積み重ね」をテーマにし、応募してもらっています。現在は、大人の応募がほとんどですが、紹介したいと思います。

A 先生

毎日、小説を読んでいます。

その成果として、多くの人の価値観や考え方に触れ、楽しいと感じるようになりました。

Bさん

毎日、夕飯の食器洗いをしています。

小さな汚れを見逃さず洗うように心がけています。職場でも小さな汚れを気にして清掃できるようになりました。

C先生

毎日、日記をつけています。

寝る前に穏やかな気持ちになります。
読み返して、前向きな気持ちになります。

Dさん

毎日、読書を続けています。（一日目標 100P）
発表する力が伸びてきました。言葉を多く知れるので、発表する言葉にも重みが出ます。

夏休みの過ごし方にも大いにつながると思います。皆さんの「積み重ね」はいかがでしょうか。